



雪に耐えて梅花麗し

副校長 佐藤 直子

今週末は立春。暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。それでも校庭の草木たちは春を迎える準備を着々と進めているようです。校庭を歩くと足元にはスイセンの花、ロウバイの黄色の花も咲いています。また、芝生もところどころ緑色の葉が顔をのぞかせ始めました。1年生が生活科で植えたチューリップの球根も小さな芽を出しています。この厳しい寒さの中、それらの花やウメやモクレンなどの木々のつぼみが膨らんでいるのを見ると、もうすぐ春が来ると思うのと同時に、その生命力に感動してしまいます。



梅にちなんだ言葉に「雪に耐えて梅花麗し」というのがあります。西郷隆盛が書いた詩の一節で、「梅の花は、冬の雪や厳しい寒さに耐えるからこそ春に美しい花を咲かせる。人も、多くの困難を経験して乗り越えれば大きく成長することができる」という意味の言葉です。人が成長するためには何かに向かって努力する姿勢や、失敗（経験）というのも多少必要なのかもしれません。また、チューリップが花を咲かせるためにも寒さに2か月ほど触れる必要があるといえます。これもまた、梅の花と同じで寒さに耐えた後に美しい花を咲かせることができるわけです。

今年度も残すところ2か月となりました。もうすぐ卒業を迎える6年生のみなさんは是非、残り少ない小学校生活の中で、目標に向かって何かをやり遂げ、一人ひとりそれぞれの自分の花を咲かせてほしいと思います。そして1～5年生のみなさんも、今頑張っていることをこれからも続けていくように努力したり、新しいことに挑戦したりしながら学び、生きる力を蓄えていってほしいと思います。今頑張っていること、今経験していることすべてがみなさんを大きく成長させてくれるはずです。

先週からマラソン週間が始まりました。休み時間になると子どもたちが校庭に出て自分のペースで走っています。寒さに負けず元気に走っている子どもたちを見ていると、こちらまでそのエネルギーをもらえそうな気持ちになります。まだまだ厳しい寒さが続きます。今冬はコロナとともにインフルエンザも流行しているようです。感染症対策とともに体調管理に心がけていきたいと思います。



❖ 1月30日現在、理科室裏の梅はいくつか開花し始めています。正門横の梅の木はまだ開花していませんでした。これからきれいな花を咲かせてくれるのが楽しみです。